令和８年２月２７日

保護者の皆様

知立市立知立中学校長
村　山　由　久

「令和７年度アンケート分析」と「令和８年度に向けて」

※　アンケートの回答の「達成されている」と「ほぼ達成されている」を肯定的評価として、「あまり達成されていない」と「達成されていない」を否定的評価と捉えての分析です。

Ⅰ　確かな学力を育む教育について

「わかる・できる授業」について、多くの教員が、タブレットなどのＩＣＴ機器を有効活用して、生徒が意欲的に学習に取り組み、「わかった」を実感できる授業づくりに励んでいます。生徒・保護者ともに昨年度よりも肯定的評価が増えました。現在、ロイロノートを活用した課題のやりとりを多くの授業で実施しています。いただいた御意見を参考に、課題の出し方や提出時間の設定など、教員全体でより適切な運用に努めます。

また、各学年や各教科における「課題の量や質」について、昨年度と概ね同様の評価でしたが、特に長期休業中や受験前の時期など、課題の量や内容を検討し、見直していく必要があると考えます。

・ロイロノートでの課題の出し方や提出時間の設定を改善する。
・家庭学習の充実に向けて、課題の量や内容を見直す。

Ⅱ　豊かな人間性を育む教育について

「充実した学校生活」と「思いやりの心や優しい心」の問いについて、生徒・保護者ともに肯定的評価が増えていました。今後も、生徒が充実した学校生活を送り、集団生活の中で、思いやりの心や優しい心を育むことができるよう努めます。

「いじめへの対応」の問いについても、昨年度よりも肯定的評価が増えました。今後も、生徒を近くで見守り、小さなトラブルを見逃さず、いじめの早期発見・早期対応に努めます。

「あいさつ」については、昨年度と比べて、肯定的評価が若干低くなっています。生徒会のあいさつ運動などの活動を支援し、校内外で気持ちのよいあいさつができる雰囲気づくりに努めます。

・いじめ防止基本方針に従って、小さなトラブルを見逃さず、適切な指導を行う。
・生徒の活躍の場を大切にし、生徒の自主的な活動によって自己肯定感が高まるよう支援する。
・生徒会の自発的な活動を支援し、あいさつなど、集団生活のルールやマナーを大切にする。

Ⅲ　健康と体力を育む教育について

令和５年度の１月から、日課を変更することで、冬の１６時３０分下校の期間にも、３０分の部活動ができるようにしました。それ以来、同じ日課を実施しており、次年度も継続していく予定です。しかし、「十分な体力づくり」の問いについては、保護者の否定的評価が約６割となっていました。生徒からの意見には「部活を増やしてほしい」というものが見られました。体育の授業や部活動などを通して、限られた時間の中で、十分な体力づくりができるよう指導の改善に努めます。

また、「規則正しい生活習慣」の問いについて、保護者の約３割が否定的評価でした。養護教諭部会でも、生活習慣アンケートや保健だよりなどで啓発してきましたが、今後も、タブレットやスマホなどの使用も含め、生活習慣の見直しに関する指導を継続的に行っていく必要があると考えます。

・体育の授業で、技術だけでなく、体力づくりへの意識の向上を図る。
・保健だよりや生活習慣アンケートで、基本的な生活習慣の大切さを伝える。また、様々な場面で、スマホやタブレットの使い方について指導し、生徒自身に生活習慣の見直しを促す。

Ⅳ　きめ細やかな指導の充実について

「(教員の) チームとしての指導」の問いについて、保護者から約８割の肯定的評価をいただきました。今後も、教員間の情報共有と連携した指導が実践できる雰囲気づくりに努めます。「きめ細やかな指導」については、肯定的評価が約６割に対し、「分からない」の回答が約２割という結果でした。今後も、少人数指導やティーム・ティーチング、個に応じた指導の充実を心がけ、保護者の皆様にも効果を実感してもらえるよう努めます。

・教員が緊密な連携を図り、円滑な学年・学校運営を行う。
・少人数指導やティーム・ティーチングの利点を生かしたり、ＩＣＴ機器を活用したりして、個に応じた学びの充実を図る。
・教員だけでなく、スクールカウンセラーや心の教室相談員などとも連携し、生徒の困り感に寄り添った支援を図る。

Ⅴ　学校、家庭、地域との連携の推進について

「きずなネット・ホームページ」の問いについて、肯定的評価が他の項目と比べて低かったです。今後は、きずなメールの発信やホームページの更新によって、より詳細な情報公開に努めます。なお、２月から試験的に学年だよりと学校だよりをきずなメールで発信しています。３月にも実施し、継続について検討します。

また、授業参観や学校公開日、学校行事などで、生徒の学校生活の様子を実際に見ていただける機会を充実させていきたいと考えています。

・学年だよりや学校だよりをきずなメールで発信したり、学校での生徒の様子をホームページのニュース欄に随時掲載したりするなど、学校と保護者・地域との情報共有を充実させる方法を模索する。
・授業参観や学校行事、各種会議などでの保護者や地域の方の参加の在り方について見直す。
・令和８年度より発足する「学校運営協議会（コミュニティ・スクール)」を介して、学校の活動に地域の方が参加したり、地域の活動に生徒が参加したりする機会を充実させる。

今年度も、多くの保護者の皆様から御回答いただきました。いただいた御意見を参考にしながら、次年度に向けて改善していきたいと考えています。お忙しい中、御協力ありがとうございました。